

一般質問通告書

通告順番 1 1 番
 通告者 大塚 益雄 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1 外国人との共生について	国内の人口減少は加速し、各労働分野で深刻な働き手不足になっている。もはや、国内産業の多くが外国人なしでは成り立たないのが実情であり、持続可能な社会を目指すには、外国人と理解し合い共に暮らしていく手立てが欠かせない。熊本県としても、技能実習生を含む労働者らが地場産業の担い手などとして定着していることがうかがえる。多文化共生社会を目指すことが大事であると思う。大津町においても、9 月現在 1,233 人の外国人が住んでおられ、年々増加している。 地域においては、ゴミ出しの問題、ゴミポイ捨ての問題、交通ルールの問題等々住民からの苦情もあり、地域の区長は頭を痛めているようである。こういった事象が発生している状況の中で、今後、外国人に対する大津町の受け入れをどう対応していくのか。以上を踏まえ町長に問う。 (1) 外国人の受け入れ対応は万全であるのか (2) 大津町企業連絡協議会と連携して企業でも取り組んでもらえば、よりプラスになると思うがそういった考えはないのか (3) 日本の生活では、日本のルールやマナーを学習周知して守ってもらうために、多文化交流会実施等を通して支援計画等、支援をする考えはないのか (4) 大津町のルール、マナー、ゴミの出し方のルール、交通安全のマナー等々チラシを作成配布する。そういった支援をする考えはないのか	町 長
2 町の道路の管理について	町の道路管理については、毎年各小学校校区の安全点検の問題箇所や地域の区長より要望があった項目、役場へ連絡があった道路の問題箇所をまとめ、優先順位を決めて道路の修復管理が実施されているようであるが、町の道路の現状を見てみるとセンターラインは消えていたり、横断歩道の白線が消えていたり、翔陽高校前のドラッグストア西交差点歩道については、段差、亀裂があり交通安全上非常に危険な個所が近代多くある。また、ドラッグストア西側通学路については、スクールゾーンの識別が消えている。通学路の安全確保が早急に求められる。依然として安全な通学路が確保されていない現状である。 よって、町の道路管理については、町全体を見据えたうえで今後は計画すべきではないのか。以上のことを踏まえ町長に問う。	町 長

一般質問通告書

通告順番 1 1 番
通告者 大塚 益雄 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
	(1) 町は、このような道路実態を把握しているのか (2) 各校区から要望のあった項目は何件あったのか 対策済と未対策がどれだけのなのか。また、未対策の今後の計画は (3) 本田技研熊本製作所南側道路、本田技研熊本製作所正門側から大津駅までの道路の中央線は、消えている部分がある。町は、管理しているのか。冬場にかけては、霧も発生するが、センターラインが見えない。消えていると運転するうえで非常に危険性がある。 早急に対策が必要であると思うが、どう考えているのか。 (4) 予備費での予算確保はできないのか (5) 道路の維持管理について、通学路の点検・整備と優先順位について	